

## 坂井市男女共同参画審議会委員委嘱式 令和4年度第2回男女共同参画審議会

日時 令和4年10月14日（金）午前10時から

場所 坂井市役所 多目的棟2階研修室1

出席委員：塚本会長、水上副会長、赤土委員、北村委員、  
佐々木委員、佐藤委員、舘委員、日芳委員、吉川委員  
坂井市：男女共同参画推進室2名（酢原室長、松浦補佐）

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 令和4年度男女共同参画推進計画について
  - (2) 令和4年度男女共同参画推進室の事業概要について
  - (3) その他
- 4 閉会

### 【会議録】

発言者	内容
事務局	<p>それでは、ただいまより令和4年度第2回坂井市男女共同参画審議会を開催いたします。ただいまの出席人数は9人でございます。従いまして、坂井市男女共同参画推進条例施行規則第7条第2項の規定によりまして、定足数に達しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、加藤委員におかれましては、都合により欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告させていただきます。また事務局の方ですけれども、当初総務部次長が同席の予定でしたが、急遽市長ヒアリングが入りましたので欠席となります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>では、開会にあたりまして男女共同参画審議会塚本会長よりご挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>先日、私が入ってる日本ジェンダー学会という男女共同参画について考えている学会が、京都の福知山市の北の方にありまして、そのテーマがいわゆる中山間地と言われるところのジェンダー政策の話があったんですね。日本は中山間地に限らず、どこも高齢化少子化っていう現象に見舞われていますが、その対策として子育て</p>

	<p>てしやすいまちづくりとか、婚活事業とか、いろんな取り組みをなさってるわけなんですけども、合計特殊出生率っていうのは一生に女性が産む子どもの数なので、その母数である女性の方が少ないと合計特殊出生率を上げてても人口は減ってしまうので、結局地方が持続可能であるには女性に選ばれないとそもそも話にならないという前提で話が進んでいるデータを拝見してきたんですけども、まさにその通りだと思ってまして、坂井市の場合は中山間地ではありませんが、福井県全体として見ても全国よりも早いペースで人口減少進んでいます。一方で合計特殊出生率は、全国で言うと6位くらいで日本の中ではそんなに低いわけでもないのになぜ結構早いペースで人口減少していくのという、やっぱり若い女性が出て行って戻ってこないっていうのが、一番重要な部分だと思います。もちろん女性だけじゃなくて、いろんな人が住みやすい、いろんな人に選んでもらえることが重要なんだろうと思いますけども、やはり女性が暮らしやすい住みやすい、ここで暮らしたい、ここで子育てしたいって思ってくれるようなまちじゃないと、持続可能性って意味でもやっぱり地方っていうのはなかなか厳しくなっていくんだらうと思いますので、そういった意味で男女共同参画は、結構根幹に関わるまちづくりとか、土台になるような重要なテーマだとも思いますので、皆さんと知恵を出し合いながら少しでも前に進めるようにしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは協議に入りたいと思います。</p> <p>ここからは、坂井市男女共同参画推進条例施行規則の第7条の規定によりまして会長が議長になります。つきましては、会長の進行でお願いしたいと思います。</p> <p>なお、当審議会の議事録の概要につきましては、情報公開の意味から、ホームページで公開をさせていただく予定ですので、ご了解をお願いいたします。</p> <p>それでは会長、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>はい、それではお手元の次第に基づいて会議を進めていきたいと思っています。</p> <p>まず、議題の1 令和4年度男女共同参画推進計画について、まず事務局の方からご説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>では、まずお手元の配布資料の確認をお願いいたします。</p> <p>(配布資料確認)</p> <p>令和4年度事業の概要説明になりますが、6月の第1回審議会で委員の皆様にご審議いただきました令和3年度の男女共同参画推進計画の評価意見要望につきましては、各担当課に周知させていただきまして令和4年度の推進計画を提出してもらいました。それがお手元にございます坂井市男女共同参画推進計画「ライフ・パートナー」になります。この計画等に令和3年度と大きな変更点はございませんでし</p>

	<p>たので、後程お目通し戴いていただきまして、今回は説明を省かせていただきたい      と思います。前回ご指摘いただきました内容については、令和5年度の第1回審議      会で、実績、課題に反映されて参りますので、ご了承いただきたいと思      います。      以上です。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。      では、引き続きまして議題の2の令和4年度男女共同参画推進室の事業概要につ      いて、また事務局の方からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お手元の令和4年度男女共同参画推進室の事業概要についてと、資料の1から3、      アンケートになりますが、こちらをご覧くださいませでしょうか。      これまで審議会の時に当室の抜粋した事業概要についてご説明しておりましたの      で、今回この機会に少しお時間いただきまして、当室で行っております事業の概要      についてご説明させていただきたいと思      います。      1ページ目をご覧ください。      令和4年度男女共同参画推進室の事業概要についてということで、1ページです      が大きく三つの事業別に、「男女共同参画推進事業」「女性活躍推進事業」「結婚サポ      ート事業」がございます。一つ一つの事業についてご説明させていただきたいと思      います。      1枚おめくりいただきまして2ページ目の「男女共同参画推進委員会」になりま      す。今までコロナ禍で出前講座ができていなかったのですが、今年度は夏休みに児      童クラブを対象に出前講座をさせていただきました。8月に児童クラブ5ヶ所で、      啓発かるたや読み聞かせ等をさせていただきました。その時に子どもたちに見ても      らった「どっちがいい」の動画がありますのでご覧くださいたいと思      います。これ      は男女共同参画推進委員の皆さんで作っていただいた動画になります。        (「どっちがいい」の動画鑑賞)        この動画を見てもらった後、「みなさんのおうちではどうですか？」と質問を投げ      かけています。      続きまして、3ページ目の「赤ちゃんとつながるオンライン交流会」に移りたいと      思います。命の尊さをはじめ、子どもを産み育てることの大切さや喜びを感じ、男      女がともに社会の対等なパートナーとして家事育児に参加する意識を高めるため、      市内の中学生3年生を対象に実施しました。      4ヶ所の中学校で実施させていただき、抜粋したアンケートになりますが、資料1を      ご覧いただきますと、子育ての大切さや喜び、親への感謝、父親の家事育児への参加      の大切さについての感想がありまして、オンラインでも十分とは言えないんですけど</p>

も、伝わってる様子が伺えました。ここで、コロナになる前の実際に「赤ちゃん抱っこ体験学習」と「赤ちゃんとつながるオンライン交流会」の様子を動画でご覧いただきたいと思います。

(「赤ちゃん抱っこ体験学習」「赤ちゃんとつながるオンライン交流会」の動画鑑賞)

このような感じでオンライン交流をさせてもらっています。

続きまして、4ページの「パパといっしょにおべんと塾」に移りたいと思います。これはお弁当づくりを父子で楽しみながら体験し、男女が共に家庭を支える意識を高めることを目的としています。今年3回実施させていただきまして、同じ親子10組に3回シリーズで参加していただきました。

資料2にアンケートをつけさせていただいてるんですけども、最初の方がパパ編で裏面がママ編のアンケートになっています。ママ編では、パパは家事育児に対して積極的になりましたかという質問で、7割の方が「はい」と回答されています。両親が協力して家事育児をしている姿を見ながら育つ子どもたちが、将来大人になり夫婦で協力していくことが当たり前になることに期待します。

この事業は、審議会委員でおとふあーぎーの館さんに、委託をお願いしている事業になります。

続きまして、かぞくデイになります。

こちらは男女が協力して家事育児を担うきっかけづくりや家族のコミュニケーションの機会を創出し、男女共同参画の意識醸成を図ることを目的に、親子で参加できるイベントを開催します。今年はまだこれからで11月に予定をしておりますので、写真は昨年のものであります。

今年もサンドアート体験やクリスマスツリーのキャンドルを作るブースなど、家族で楽しめる体験ブースを準備しております。

続きまして1枚おめくりいただいて、6ページの男女共同参画センターになります。男女共同参画に関する講演会の開催や、情報収集発信、各種相談窓口として市民が交流し、さかい男女共同参画ネットワーク会員を中心に市の男女共同参画の拠点施設として運営体制を強化していきます。

今年度はミニ講座を2回行ってまして、また来週の19日にコーヒーの入れ方講座を予定しております。

続きまして、イクボス推進事業。職場で共に働く部下やスタッフのワークライフ

バランスを考え、多様な生き方を積極的に支援する経営者・管理職の普及・推進を図り、一人一人が個性と能力を発揮し、笑顔で働き続けることができる職場づくりへとつなげます。今年度は、イクボスデーを7月に行いまして、イクボス推進ネットワークを第2回まで開催しました。

2回目は先進地視察で、滋賀県の甲賀市の方に伺ったんですけども、印象的だったのが、視察先の働き方改革推進担当の方自身のワークライフバランスに変化が現れまして、家族との関係性がよくなったというお話が特に印象的でした。また、今月末に振り返りセミナーを行います。

では次に女性活躍推進事業の「学び女史プログラム」になります。企業や地域において、女性が生き生きと活躍することを目的に、女性のキャリアアップとワークライフバランスに積極的に取り組むため、女性のニーズに合わせた講座を実施しています。今年度7月8月9月と3回、行いました。資料3のアンケートをご覧いただきたいのですが、20代から60代までの幅広い年齢層の女性に参加いただきました。50代の方が一番多く11名の参加がありました。それぞれ皆さんの前向きな感想が多く見られました。

続きまして、「農業女史プログラム」になります。女性農業者の次世代リーダーの育成や、農業で新たなチャレンジを行う女性の取り組みの促進、農業、農村の活性化につながる女性の経営、社会参画を推進するとともに、女性農業者のネットワークやグループ活動の活性化・拡大化を図る。今年度は6回、積極的に出店の方をしておりまして、農業女史のファンを増やせたらいいなと思っております。SNSでも、インスタグラムを立ち上げる準備をしているところです。

それでは次をめぐっていただきまして、3番、結婚サポート事業、「さかい出会い・つながる企業対抗スポーツフェスティバル」になります。市内企業に勤務する独身者を中心とした運動会を実施し、企業の枠を超えた出会いの機会の創出、企業間交流を目的としています。6月に実施しました。男女共同参画を意識しまして、写真にもありますように家事力アップリレーなども行いまして、運動会の後に独身者で交流会を行わせていただきました。

では、続きまして、「えち鉄謎解き恋活 IN 三国」になります。貸切のえちぜん鉄道で三国を訪れて、レトロなまちを歩きながらご当地にまつわる

	<p>謎解きをグループで行う中で、新しい出会いにつなげていきます。</p> <p>これは明後日の今週末に予定しており、準備しているところですが、男性は 15 名で女性 は 14 名が参加予定をしております。</p> <p>男性の方には 34 名の申し込みをいただきました。</p> <p>おめくりいただきまして、最後の「カラフルセミナー &amp; 婚活イベント」になります。心構えや好印象を与える身だしなみ、コミュニケーションなどを連続セミナーで学んだ後、婚活イベントを開催します。</p> <p>婚活イベントは自然の中でバーベキューを楽しみながら、新しい出会いへとつなげます。セミナーは男性の方のみで、表現力アップや魅力アップ、婚活力アップをテーマとしたセミナーを 3 回行いまして、今月末ちくちくぼんぼんで、婚活 BBQ を行います。以上になります。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それではただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
北村委員	<p>あの、男女共同参画事業の中で、赤ちゃんをつながるオンライン交流会に三国が参加していないようですが、都合が合わなくて出来なかったのか、どういった理由で参加できてないのでしょうか。</p>
事務局	<p>中学校の方にご意向をお伺いしましたところ、三国中学校の方では日程が合わないということもありましたし、出来れば対面型でとご希望されてたんですね。当初に皆さんにご意向をお伺いした時には、まだコロナの動向が不透明なところもありましたので、今年度はもう 1 年オンラインでとお願いをしましたところ、三国の方では今回は不参加ということになりまして、また来年度以降に向けましては、コロナがどういふふうになってるかも分からないんですけども、全中学校で実施をお願ひできるように準備しているところです。</p>
北村委員	<p>以前、赤ちゃん抱っこが三国であったときに私も参加しましたがけれど、すごくいいなと思ったので、実際に安全に行えるかでしょうね。</p> <p>児童クラブも同じような状況ですか。</p>
事務局	<p>児童クラブさんは、ちょうど夏休みはずっとコロナが流行っていた時期でもありまして実際この人数ではあるんですが、当初はもっと 50 人規模で申し込みがあったんですけども、やはり体調がすぐれない児童さんもいらっしゃいましたので、人数は当初より少し減っている中で、実施をさせていただきました。</p>
館委員	<p>えち鉄の婚活のことですが、対象女性が 20 代から 40 代で県内在住、コロナ禍の影響があるのでなかなか難しいと思うんですが、福井県内の人で婚活ももちろん大</p>

	<p>事なんですけど、県外から来てもらうというところを考えていかないと人口増にはならないのではないかというのがあるので、簡単に言えば福井県の各市町がその女性を取り合うことになるので、もうちょっと東京、大阪を含めて、福井に来るようなことができれば理想的なんです。来年に向けて県外も視野に入れて、坂井市に来てもらう機会をつくれたら人口増にも繋がっていく。</p> <p>県外という部分も少し入れていただけると、コロナ次第ってところもあって、難しいですけど、そこも視野に取り組んでいただけるといいと思います。</p>
水上委員	<p>5点ほどあるんですけども、まず一つ目が、男女共同参画推進委員会で児童クラブに対して、とても素晴らしい動画を作成されていますが、これに子供たちはどんな反応を示したかということ、それから子供たちと対話をしているいろいろ考える時間を持ってたっというようにことでしたので、どのようなお話し合いをされたのかを教えてください。</p> <p>2点目なんですけど、この赤ちゃんとつながるオンライン交流会の対面の時の映像で、お父さんも参加されているっていうアナウンスがちょっと入ったと思うんですけど、実際には映像としては確認できなかったの、どれくらいのお父さんが参加されているのかという事と、オンライン交流でお2人ともお母さんが出演されてたんですが、これを例えば1人お父さんが出られるとかそういった工夫余地はないのかなということ。</p> <p>3点目としましては、イクボス推進企業の今度振り返りセミナーをされることですが、これは素晴らしいことで、振り返りがやっぱり重要なのでどんなような内容でされるのかということが質問です。</p> <p>そして4点目としまして、えち鉄謎解き恋活なんですけども、女性の金額が低いところの意図というか、意義というか、これを教えていただけたらと思います。</p> <p>最後に、パパといっしょにおべんと塾のアンケートで、参加して気づいたこととか、変わったことという、ママが答えるということなんです。選択肢の3つめのところで「お手伝いしてくれるようになった」というのがあるんですけども、男女共同参画の考え方は、どっちかが手伝うというよりも一緒に対等に関わるということなので、「お手伝い」とか「してくれるようになった」という表現は、結局ママがするのが当たり前で、パパがすると「ありがとう」という、なにか役割意識がにじみ出るような選択肢だと思いますので、「いっしょにやってくれるようになった」とかフラットな表現が良いと思いました。以上5つなんですけど、分かる範囲で教えていただけるとありがたいです。</p>

事務局	<p>1 点目の男女共同参画推進委員の出前講座の子どもたちの反応なんですけれども、動画を見てもらった後に、おうちで、みなさんやお父さんは家事をやってますかとの質問に対して「お父さん、洗濯物たたんでる」などの話をきくことができ、今の若い世代の家族ではお父さんも家事をされている様子が分かり、徐々に男女共同参画の意識が進んできていると感じることができました。</p> <p>次に2点目の「赤ちゃんとつながるオンライン交流会」のお父さんの参加についてですが、育児休業制度が10月から変わりましたが、なかなか育休を取得されているお父さんも少なく、平日の日中に行っていることもあり、今はお母さんの参加のみです。ただ、募集の方はお父さんにもかけておりますので、今後育児休暇が取りやすい状況になり、これからお父さんの参加も出てくると期待しております。</p> <p>振り返りセミナーにつきましては、委託業者の方と打ち合わせをしているところですので、具体的なことはお伝えできないのですが、視察研修については事務局も同行させていただきましたが、視察先の二つの事業所様が本当に丁寧にご説明くださいますので、参加された企業の方も個別に資料や名刺交換などをされて交流できたのではないかと思います。</p> <p>4点目のえち鉄謎解き恋活の参加費の設定ですが、女性の参加者が少なくて集まりにくいところがございますので、参加費の設定を低くすることで参加してもらいやすいようにとの思いもあります。また坂井市に若者を増やしたいという思いもありますので、若干の金額設定の違いを設けています。</p>
水上委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後のアンケートの質問の選択肢については、今後改善の余地がありますでしょうか。</p>
館委員	<p>これは、弊社がアンケートを行ってまして、質問に選択肢があるわけではなく、自由に書いてもらっています。なので、お母さんたちが「お手伝いしてくれるようになった」という表現をされているところに問題があるのだと思います。お母さん自身の意識を変えていくという意味で、何ができるのかを考えていく必要があるのだと思います。</p>
水上委員	<p>そうしますと、このデータを今後どの活かしていくのかというところで、アンケートが自由記述であったからこそ、このような生の認識が浮き彫りにされたところ。だからこそ、もっとこういうふうに改善していかなくちゃいけないというところに繋がっていいですね。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>このおべんと塾は3回続けていらっしゃるところが素晴らしいと思いました。</p>
館委員	<p>3回続けることでスキルアップとか意識の改善につながるというメリットがある一方で、今年36とか7組の応募がありまして20数組の親子をお断りしているので、たくさんの方に受けていただくようにすると単発になってしまうということもあって。</p>



会長	今は男性向けの料理教室など結構ありますが、一回のみなのでそれではどうしても作れるようにはならない。やっぱり継続的にやってもらって意識を高めて、自信をつけてもらってというのはいいと思いますね。それを子どもと一緒に3回するというのはすごくいい。
北村委員	30数組の親子が、全員できないのは予算的な事になりますか。
館委員	予算的ですね。
北村委員	材料費だけもらって、行うことはできませんか。
館委員	材料費だけではなくて、人件費と企画費、広報費などもかかりますので。
北村委員	そういう費用もかかるでしょうから、ある程度の負担をしていただいて継続していただくといいのかと。すごくいい事業ですので、継続してやっていきましょう。
水上委員	先ほどの「赤ちゃんつながりオンライン交流会」のお父さんの参加のことなんですが、育休とか仕事の関係で事情はあるとは思いますが、お父さんが赤ちゃんと一緒に出てくることで中学生にとってすごくインパクトが大きいと思うので、何とかそこをお願いできればと思います。 あとイクボスの振り返りですけれども、本当に素晴らしいことで、その後どうだったかという評価、フィードバックを考えるってところが素晴らしいので、審議会からそのような意見が出たという事を機会があったらお伝えていただけたらなと思います。
会長	おっしゃるとおりアンコンシャスバイアスって、知らないうちに刷り込まれていくので「赤ちゃんつながりオンライン交流会」でお母さんだけが参加されると、育児って女性がするものだというイメージが刷り込まれてしまうことになりまして、えち鉄の恋活も女性の参加を広げるという意味もあるのかもしれませんが、経済的な負担は男性がすべきだというアンコンシャスバイアスに結びついてしまいかねないと思うので、企画する側もアンコンシャスバイアスの要素がないかチェックをしながら検証していくという方向で考えていってもらうといいのかなと思います。
水上委員	児童クラブでの出前講座ですが、先ほど児童の中から「お父さんも家でお手伝いしているよ」みたいな意見があったと思うんですが、「お手伝い」っていうんじゃなくて「一緒にやっているんだね」と、ちょっと言葉を置き換えていくという、そういう積み重ねしかないと思うので、ぜひ多様な部分を深めていただければ有難いなと思います。
会長	はい、ありがとうございます。他にご質問、ご意見よろしいでしょうか。いろいろご意見いただきましてありがとうございました。それでは、その他ということで事務局お願いしたいと思います。
事務局	皆様、ご質問、ご意見等いただきまして、どうもありがとうございました。 今後の審議会の予定ですが、今年度は本日の審議会が最後になります。次回は来年6月頃に令和5年度第一回審議会としまして、令和4年度の進捗状況報告書についてご審議いただきたいと思いますので、委員の皆様におかれましては、引き続き来年度

	もよろしく願います。
会長	はい、ありがとうございます。他にないようでしたら、本日の審議会を終了させていただきたいと思います。
事務局	会長、ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして副会長よりご挨拶させていただきたいと思います。
水上委員	皆さんお忙しい中、ありがとうございました。 いろいろ思うところがありまして、例えば国土交通省ですとか、農林水産省のような国レベルのグループの会議に出ることが多いんですけども、そういう中でこの男女の問題とか、女性の県外流出問題とか、要は人口減少っていうのは非常に北陸は顕著であるってことの表れなんですけども、特に人口減少の原因として20代女性が県外に行って帰ってこないっていうことを国土交通省でさえ、そこを非常に問題視していて、同調圧力問題であったり、その地方の寛容性の乏しさであったり、そんな議論が行われているんですね。また北陸農政局、農水省の議論の中でも、農山漁村の中でいかにジェンダー問題が遅れているのか、それが農山漁村の発展を非常に妨げている。そんな中で私たちがやらなきゃいけないことってまだまだあるんだなって。今日はすごく素晴らしい事業をたくさん見せていただいて、こういう事の一つ一つの積み上げなんだなと思う一方で、やっぱりもっと根深いことも地域にまだまだあるんだろうなという事も感じております。そんな中でまた今年の幸福度ランキングで、福井県が上位に躍り出ていますがその一方で、NHKで福井の女性の幸せ度が低いと、全国最下位ぐらい低いんだよっていうことを特集で放送されていたので、一位だと喜んでるんじゃなくて女性が本当に幸せなのかということも福井県として取り入れていかなきゃいけないんだと痛感しているところです。こういう事の積み上げかと思しますので、今後とも皆さんのご意見たくさんいただければと思います。今日はありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。以上を持ちまして、本日の第2回審議会を閉会いたします。本日は皆さま、どうもありがとうございました。